



第4回地域包括ケア応援セミナー

「在宅医療・介護連携の推進について」プログラム資料

鴨川市における地域包括ケアシステム 構築に向けた「在宅医療・介護連携の 取り組み」

平成29年1月19日(木)

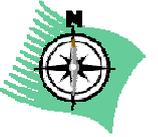
鴨川市
健康推進課長 牛村 隆一
(鴨川市福祉総合相談センター長)



鴨川市のイメージキャラクター
「ななちゃん」「たいよう君」「まつー」

鴨川市の概況

資料1



〔鴨川市全体〕

【面積】 191.14km²

【人口】 34, 247人

【65歳以上人口(率)】12,393人(36.2%)

【15歳未満人口(率)】3,511人(10.3%)

【世帯数】 16,131世帯

【一世帯あたり人数】 2.1人



天津小湊地区
鯛の浦 遊覧船



長狭地区 大山千枚田



江見地区 お花畑



太平洋



鴨川地区 日本の渚百選
前原・横渚海岸

※データは、平成28年4月1日現在



医療環境の状況

- ・施設数 ⇒ 病院7、診療所19、歯科診療所11
- ・病床数 ⇒ 病院1,558床、診療所(一般・療養)38
- ・医師数431人、歯科医師48人、薬剤師148人

* 平成26年千葉県衛生統計年報、平成27年度安房健康福祉センター(安房保健所)事業年報

※人口10万人あたり⇒病院数、病床数、医師数は、千葉県下37市中 1位

介護保険の状況

- ・在宅(居宅)介護サービス事業所数 63
- ・地域密着型サービス事業所数 7
- ・介護保険施設数 8

・介護老人福祉施設 3施設(228床) ・介護老人保健施設 1施設(100床)

・介護療養型医療施設 4施設(206床)

* 介護保険施設数は、平成28年4月1日現在

※産業別従事者数15,862人のうち、医療・福祉(介護含む)従事者数は、4,550人(従事者総数の29%)

*平成28年版鴨川市統計書

24時間
365日対応

対象者を問わない包括的なワンストップ相談支援 福祉総合相談センター、サブセンター

地域包括支援センターを機能強化し、
児童、障害者、高齢者、DV等に対応
する総合相談支援機関



平成24年4月～(市直営)
鴨川市福祉総合相談
センター 13名配置

平成25年4月～ (社会福祉法人委託)
福祉総合相談センター・天津小湊
(サブセンター) 4名配置

1.相談支援

- ①児童、障害者、高齢者などの生活の困りごとや虐待等の処遇困難ケースへの対応
- ②適切な保健福祉サービス提供に係る横断的な総合調整

2.地域支援(地域づくり)

誰もが安心して暮らし続けられよう、
支え合いのある地域づくりを实践(コ
ーディネート)

※市直営センターは、地域包括支援センター
の業務に加え、生活困窮者自立支援機関の
業務を実施

【平成27年度の相談件数】
○新規の相談件数 720件
※継続した相談対応件数
は、年間1万件



在宅医療・介護の連携推進

(ア) 医療施設・介護サービス資源の把握

市内の医療機関、介護サービス事業所約70箇所を訪問し聞き取り調査（医療・介護連携コーディネーターが調査し、情報を整理）

⇒ガイドマップ作成・啓発



A 長狭エリア

- 1 区 ● 鴨川市立国保病院 ☎ 04-7097-1221
● 鴨川国保歯科センター ☎ 04-7097-1222
● 鴨川市国保訪問看護ステーション ☎ 04-7097-1435
● 鴨川市国保ヘルパーステーション ☎ 04-7099-8081
- 2 区 ● 障害者支援施設しあわせの里 ☎ 04-7098-1110
- 3 区 ● ヤックスドラッグ鴨川長狭店 ☎ 04-7099-8273
● ヤックス鴨川訪問介護センター ☎ 04-7099-8288
● ヤックスデイサービスセンター鴨川 ☎ 04-7099-8275
- 4 区 ● なぎさ歯科医院 ☎ 04-7099-8020
- 5 区 ● 障害福祉サービス事業所らんまん 共同生活援助事業所（介護サービス包括型） ● グループホームまのの ● ケアホームらんまん ☎ 04-7096-1800
- 6 区 ● 特別養護老人ホーム 南小町 ☎ 04-7094-5558
- 7 区 ● いさいきの家 鴨川 ☎ 04-7099-9121
- 8 区 ● ウテナ・ケアプランサービス ☎ 04-7097-1607
- 9 区 ● すみれケアサービス ☎ 04-7098-1032
- 10 区 ● グループホームめだかの家（介護サービス包括型）安宅のみ ☎ 04-7097-0377

D 天津小湊エリア

- 1 区 ● 黒野医院 ☎ 04-7094-0383
- 2 区 ● 池田歯科 ☎ 04-7094-1401
- 3 区 ● こみなと歯科医院 ☎ 04-7095-2468
- 4 区 ● アマツ薬局 ☎ 04-7094-0727
- 5 区 ● 特別養護老人ホーム 千の風・清澄 ☎ 04-7099-5611
- 6 区 ● ジョイライブ川の清（在宅有料老人ホーム） ☎ 04-7099-6018
● 衛ライフサポート川の清 ☎ 04-7099-6073
- 7 区 ● デイサービスセンターリポート天津 ☎ 04-7094-0092

Q エリアの見方

Q マークの見方

- 医療介護機関
- 医療機関
- 歯科医院
- 調剤薬局
- 訪問看護
- 施設サービス
- 在宅サービス
- 障害者福祉施設
- 相談機関
- 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
- 看護小規模多機能施設（看護小規模多機能型居宅介護）
- 福祉用具貸与・購入
- 特定後援入居者生活介護（特定後援型共同生活介護）
- 介護老人福祉施設（介護老人保健施設）
- 療養型医療施設（急性期医療施設、療養型医療施設、回復期医療施設）



在宅医療・介護の連携推進

(イ) 在宅・医療介護連携の課題の抽出と対応の協議

○「鴨川医療連携会議」の定期(月1回)開催

〔参加者〕医師、薬剤師、看護師、介護支援専門員、訪問介護事業所管理者
管理栄養士、亀田医療大学教授、社会福祉協議会職員、福祉総合相談センター
保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員ほか

〔課題・取組〕

平成27年度「薬の飲み方」の啓発

平成28年度「食べる」をテーマに
多職種連携



(ウ) 在宅医療・介護サービス等の情報の共有・支援

○病診連携会議への参加

市内の病院、診療所の情報共有の場に、福祉総合相談センター
の医療・介護連携コーディネーターが参加

○2次保健医療圏の3市1町行政担当、地域包括支援センター 専門職にて、地域連携パスの仕組みづくりに取り組む

〔取組〕平成28年度は、医療・介護関係者にアンケート実施



在宅医療・介護の連携推進

(工) 在宅・医療介護関係者の研修

平成28年度在宅医療・介護連携研修会

①平成28年10月18日

〔テーマ〕在宅生活で「食べること」

「薬の飲み方」から多職種で考える「食べる」ことへ

〔参加者〕60名（グループワーク参加者）

医師、薬剤師、管理栄養士、栄養士、保健師、看護師、介護支援専門員、
介護福祉士、訪問介護員ほか





在宅医療・介護の連携推進

(オ) 在宅・医療介護連携支援センターの運営

鴨川市立国保病院に「医療・介護連携支援室」を設置

- ・平成28年10月～
- ・医療ソーシャルワーカー1名配置
- ・福祉総合相談センターと連携



(カ) 24時間、365日の在宅医療・介護サービス提供体制

福祉総合相談センター（市直営、サブセンター）が、医療機関、介護支援専門員、介護サービス事業所と連携を図り対応



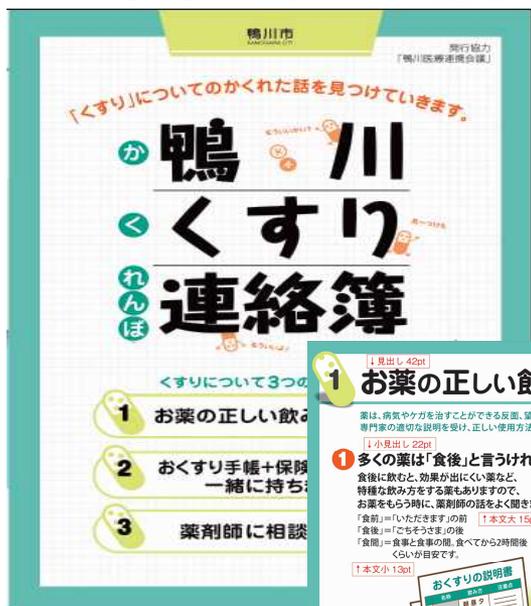


「鴨川くすり連絡簿」による啓発

①服薬パンフレット

…専門職が意見を出しながら作成。高齢者向けに、わかりやすい説明となるように配慮。

②DVDの製作・服薬パンフレットの説明DVD。医療連携会議にて企画を行い、医師、薬剤師、サロン参加者の協力を得ながら撮影



1 お薬の正しい飲み方・使い方 (1 見出し: 42pt)

薬は、病気やケガを治すことができる反面、望ましくない作用を起すこともあり、専門家の適切な説明を受け、正しい使用方法を守ることが大切です。

【小見出し: 22pt】

- 多くの薬は「食後」と言うけれど…
食後に飲むと、効果が出にくい薬など、特別な飲み方をする薬もあります。お薬をもらう時に、薬剤師の話をよく聞きましょう。
「食前」⇒「いただきます」の前
「食後」⇒「食事と食事の間、食ってから2時間後くらいが目安です。」
【本文: 大 15pt / 小 11pt】
- 「量」・「回数」
決められた「量」・「回数」を守りましょう。
【本文: 大 15pt / 小 11pt】
- 「飲みにくい薬」
飲みにくい薬、飲み込みづらい薬がある場合、薬剤師に相談しましょう。
【本文: 大 15pt / 小 11pt】
- 「飲み合わせ」
薬や食品によって、飲み合わせの悪いことがあります。別の病状にかかる時や、育服薬を飲む時は、医師、薬剤師に相談しましょう。
【本文: 大 15pt / 小 11pt】
- 「飲み忘れ」
飲み忘れてしまった場合は、医師・薬剤師に相談しましょう。
【本文: 大 15pt / 小 11pt】

2 おくすり手帳、保険証、診察券を、一緒に持ちましょう (1 見出し: 35pt)

【小見出し: 22pt】

- 「おくすり手帳」、「保険証」、「診察券」をいつも一緒にして持参しましょう。
【本文: 大 15pt / 小 11pt】
- 複数の病状にかかる場合、それぞれの病状に「おくすり手帳」を持っていきましょう。同じ薬が処方されていないか、飲み合わせが悪い事がなければ確認できます。
【本文: 大 15pt / 小 11pt】
- 「おくすり手帳」を1冊にまとめましょう。
【本文: 大 15pt / 小 11pt】

お薬やジュースでお薬でもいいのか? ジェネリックってどんな薬? 分からない事は、どんなことでも薬剤師に聞きましょう

お薬を飲む日に薬は飲んでいい? →ふさだし 12pt





薬の飲み方や医療の受け方に関する啓発・研修

(1) 高齢者サロンへ出向いて薬の正しい知識の啓発

- ・ DVD、パンフレットによる啓発
- ・ 薬剤師、介護支援専門員、管理栄養士による個別相談



(2) アドバンス・ケア・プランニング (ACP) 研修会

病気などで、将来、意思決定能力が低下したときに、どのような「医療」を受けたいか、もしものときに備えた話し合いを行う



地域住民と医師とのグループワーク





在宅医療・介護の連携推進

① 専門多職種広域連携・地域包括ケア推進セミナー

医療・介護・保健・福祉・司法・教育等専門職地域連携

第3回
安房地域
包括ケア推進セミナー

日時：平成28年12月3日～12月4日

場所：千葉県南房総市

テーマ：「チームアセスメントと多職種
連携（館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町）」



専門多職種による事例検討

事例検討報告



多機関の協働による包括的支援体制づくり

○取組の概要 モデル地区⇒長狭地区〔高齢化率(43.5%)が市内で最も高い圏域〕 〔連携支援体制〕

がんや難病等の療養者、生活困窮者への就労支援、農業分野等の他分野との連携により、複合的な課題を抱える者に対する仕組みづくり

- ⇒ 鴨川市立国保病院と、地域がん診療連携拠点病院や農林業体験交流協会等と連携
- ⇒ 鴨川市立国保病院に設置した「医療・介護連携支援室(平成28年10月～)」と連携
- ⇒ 居宅介護事業所、訪問介護事業所、訪問看護ステーションと連携

農林業体験交流協会
(みんなみの里)



鴨川市立国保病院
(医療・介護連携支援室)



亀田総合病院
(地域がん診療連携拠点病院、地域難病相談支援センター)



ホームホスピス
(NPO法人 フローラファミリー)

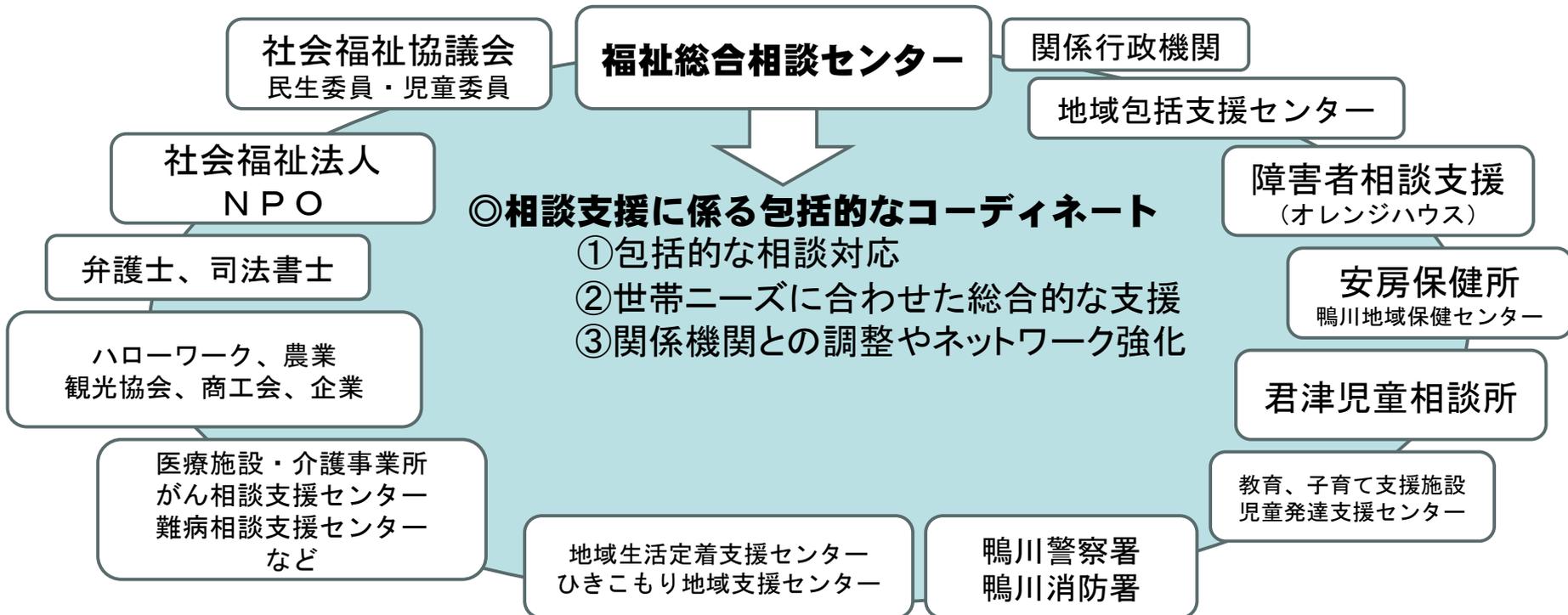




新たな地域包括ケアシステム

【地域の中で複合的な課題（下記）を抱えている要支援者】

- 要介護高齢者と障害をかかえた子どものいる世帯
- 医療ニーズの高い難病・がんを患っている者の生きがい就労
- 若年性認知症や病気で就労できない生活困窮世帯 など



【鴨川市の地域包括ケアシステム構築 に向けた在宅医療・介護連携の特徴】

①在宅医療や介護が必要な高齢者世帯であっても、一人で複数の問題を抱えている場合や、同じ世帯(家族)の中でも、児童、障害者への対応、生活困窮、虐待、DVなどにも対応することがあるため、多機関・多職種協働による包括的な相談支援体制づくりに取り組む。

②福祉総合相談センターを軸に、市内及び、広域(二次医療圏/3市1町)連携による地域包括ケアの推進

